

令和2年度  
国民保護に係る訓練の成果等について

令和3年5月

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

# 目次

1. 令和2年度 国民保護共同訓練の実施状況	・ ・ ・	1
2. 大分県国民保護共同実動訓練（国重点訓練）の実施結果	・ ・ ・	4
3. 令和2年度 国民保護共同訓練の総括	・ ・ ・	8
4. 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について	・ ・ ・	10
5. 令和3年度 国民保護共同訓練の実施について	・ ・ ・	12
【参考】国民保護ポータルサイトについて	・ ・ ・	13

# 1. 令和2年度 国民保護共同訓練の実施状況

## (1) 都道府県別・国民保護共同訓練の実施状況 (令和2年度末実績)

国民保護法に基づき、関係機関の機能確認及び相互の連携強化を行うとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を目的として、国、地方公共団体、その他関係機関及び地域住民が一体となった共同の実動訓練及び図上訓練を実施。

### 【訓練実施回数】

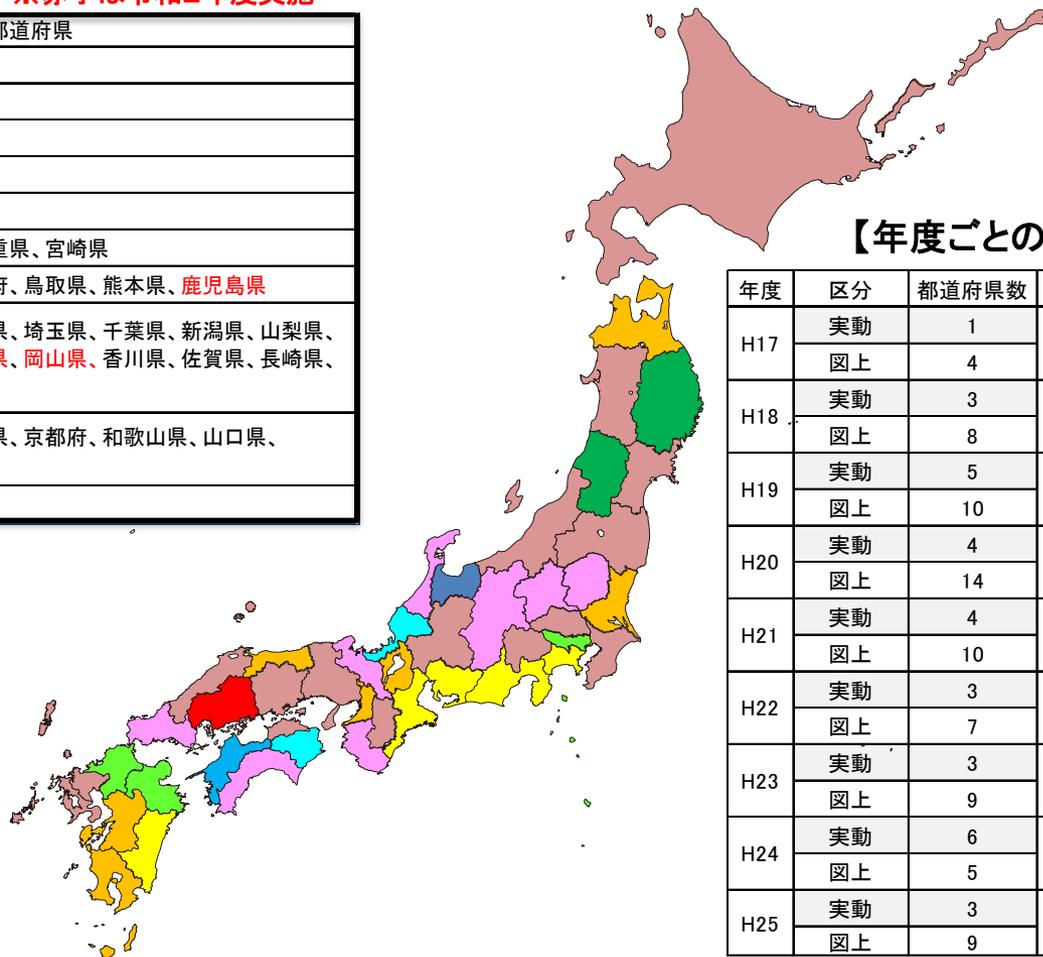
※赤字は令和2年度実施

回数	都道府県
13回	福井県、徳島県
11回	富山県
9回	愛媛県
8回	岩手県、山形県
7回	東京都、福岡県、大分県
6回	神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、宮崎県
5回	青森県、茨城県、滋賀県、大阪府、鳥取県、熊本県、鹿児島県
4回	北海道、宮城県、秋田県、福島県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、岐阜県、兵庫県、奈良県、島根県、岡山県、香川県、佐賀県、長崎県、沖縄県
3回	栃木県、群馬県、石川県、長野県、京都府、和歌山県、山口県、高知県
2回	広島県

### 【年度ごとの訓練実施状況】

年度	区分	都道府県数	計	年度	区分	都道府県数	計
H17	実動	1	5	H26	実動	4	13
	図上	4			図上	9	
H18	実動	3	11	H27	実動	3	15
	図上	8			図上	12	
H19	実動	5	15	H28	実動	4	22
	図上	10			図上	18	
H20	実動	4	18	H29	実動	5	29
	図上	14			図上	23	
H21	実動	4	14	H30	実動・図上	1	24
	図上	10			実動	9	
H22	実動	3	10	H30	図上	12	24
	図上	7			実動・図上	3	
H23	実動	3	12	R1	実動	5	20
	図上	9			図上	13	
H24	実動	6	11	R1	実動・図上	2	11
	図上	5			実動	2	
H25	実動	3	12	R2	図上	9	11
	図上	9					

(延べ242都道府県)



# 1. 令和2年度 国民保護共同訓練の実施状況

## (2) 訓練実施概要

- ◇ 共同訓練（国と地方公共団体が共同して行う訓練）を11回実施した。（実動訓練2回、図上訓練9回）
- ◇ 共同訓練以外にも、地方公共団体単独での訓練が19回実施された。（実動訓練4回、図上訓練15回）

# 1. 令和2年度 国民保護共同訓練の実施状況

## (3) 訓練の実施状況

年月日	都道府県	区分	実績(回数)	シナリオ概要	類型	対象施設等	参加機関数	参加人数
2020年10月23日	宮城県	図上	4	令和元年度に実施した国民保護共同図上訓練の訓練状況や課題を踏まえつつ、大規模イベント開催時に開催市町村のみならず他の市町村における事案への対処方法や関係機関との連携などについて下記の項目を中心に意見交換する。	検討会		29	43
2020年10月29日	富山県	実動	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>県西部体育センターにおける、テログループによるサリン散布事案発生</li> <li>市立砺波総合病院におけるヘリ等搬送重症者医療救護対応</li> <li>柳瀬農村婦人の家周辺での、テログループの立てこもり事案対応(住民避難、避難所運営)</li> <li>氷見漁港における、海上へ逃走した犯人への対応</li> </ul>	Cテロ Eテロ	体育センター	37	378
2020年11月12日	岩手県	図上	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に国民保護の基礎的事項の予習を実施して当日の訓練に参加する。</li> <li>当日は、最初に全体会で全員に対し想定の確認、国民保護の避難に関する事項の報告についての流れの解説を実施。</li> <li>3つの会場グループに分かれて、各対策本部ごとに討議、発表した後、会場グループで討議。</li> <li>避難実施要領のパターン作成</li> </ul>	検討会		32	81
2020年11月19日	大分県	実動	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイハツ九州アリーナで化学剤(サリン)散布事案発生</li> <li>ダイハツ九州スポーツパーク大真で不審物発見</li> </ul>	Eテロ Cテロ	大規模集客施設	65	650
12月16日(安来市) 12月17日(出雲市)	島根県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内施設でテログループによる立てこもり事案</li> <li>緊急対処事態を想定した国民保護措置に係る「避難実施要領のパターン」を検討する</li> </ul>	検討会		21	106
2021年1月14日	奈良県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋敷山公園で爆破事案が発生</li> <li>近鉄尺土駅で爆発物が発見</li> </ul>	Eテロ	公園、駅	53	198
2021年1月18日	高知県	図上	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知市文化プラザからぼーとで爆破事案発生</li> <li>高知県立ふくし交流プラザにおいて爆破予告及び不審物の発見事案発生</li> </ul>	Eテロ	大規模集客施設	58	165
2021年1月21日	岡山県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「山陽ふれあい公園」でイベント中に爆破テロ事案が発生。</li> <li>その後、交流センターで人質をとり立てこもり</li> </ul>	Eテロ	公園	9	78
2021年1月26日	鹿児島県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>霧島国際音楽ホールにおいて爆破事案発生</li> <li>鹿児島空港国際線ターミナルビルにおいて化学剤散布事案発生</li> <li>霧島市海浜公園体育館において、爆弾を所持したテログループによる立てこもり事案発生</li> </ul>	Eテロ Cテロ	音楽ホール 空港、体育館	15	73
2021年2月10日	石川県	図上	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>輪島市袖ヶ浜海岸で不審船発見</li> <li>輪島市文化会館で化学剤散布事案発生</li> <li>輪島郵便局で立てこもり事案発生</li> <li>輪島市袖ヶ浜海岸で不審船事案発生</li> </ul>	Cテロ	文化会館	46	192
2021年2月12日	青森県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市内大型ショッピングモール2店舗にて相次いで不審物が発見される事案発生</li> <li>第80回国民スポーツ大会会場である新青森県総合運動公園陸上競技場において開会式中にドローンによる化学剤散布事案発生</li> <li>逃走したテログループが、トラックで歩行者を次々とはねて、青森駅周辺施設に立てこもる事案発生</li> </ul>	Cテロ	大規模集客施設 総合運動公園	18	168

※ 当初、訓練を予定していた北海道、山形県、福島県、茨城県、新潟県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、鳥取県、徳島県、福岡県、佐賀県の16道府県については、新型コロナウイルス対応等の影響により訓練を中止。

## 2. 国重点訓練の実施結果について（概要・訓練風景・成果と課題）

令和2年度国民保護共同訓練（国重点訓練）について

### 大分県国民保護共同実動訓練

※ 上記以外の訓練の実施結果は「国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）  
をご参照ください。

# 令和2年度 大分県国民保護共同実動訓練【訓練概要】

目的	スポーツイベント開催会場における実動機関の初動対処能力向上、関係機関相互の連携強化、県・市の各対策本部等の能力向上及び国民保護に関する啓発を目的とする。	
日時	令和2年11月19日(木) 13:20~16:10	
場所	ダイハツ九州スポーツパーク大貞、中津市役所、中津市立中津市民病院、中津東体育館	
訓練想定	ダイハツ九州アリーナにおいて、観客席に仕掛けられた不審物から化学剤が散布され多数の死傷者が発生。さらに、観客等が避難中に新たな不審物が発見された。その後、市内の大規模商業施設で爆破事案が発生。逃走した犯行グループは警察車両に追跡され港湾施設に立てこもった。	
主要訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 初動対処訓練(救出救助、検知、除染、避難誘導、搬送トリアージ、応急救護、爆発物処理等)</li> <li>2 現地調整所運営訓練(情報収集・集約、現地各機関の総合調整、対策本部との連携要領等)</li> <li>3 救急医療対応訓練</li> <li>4 合同対策協議会運営訓練</li> </ol>	
訓練の特徴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大規模スポーツイベント開催時の事案発生を想定した国民保護共同実動訓練</li> <li>2 Cテロを想定した救出時の現場応急救護対応</li> </ol>	
主な参加機関	政府機関	内閣官房、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省・自衛隊、海上保安庁、陸上自衛隊第4師団司令部、第41普通科連隊、第4飛行隊、第4特殊武器防護隊、航空自衛隊西部航空方面隊司令部、自衛隊大分地方協力本部、第七管区海上保安本部、大分海上保安部
	地方公共団体	大分県、中津市、大分県警察本部、中津市消防本部、県内全市町村及び消防本部(情報伝達訓練に参加)
	指定(地方)公共機関等	日本赤十字社大分県支部、中津市立中津市民病院、大分県医薬品卸業協会、シンコースポーツ九州株式会社
訓練の公開	マスコミ公開	



# 令和2年度 大分県国民保護共同実動訓練【訓練風景】



救出救助活動



応急救護活動(DMAT)



ヘリによる被災者搬送



現地調整所



医療機関における救急医療対応



避難施設における救援活動

# 令和2年度 大分県国民保護共同実動訓練【成果と課題】

## ○ 主な成果

### ◇ 国民保護に対する理解

訓練参加各機関が、国民保護事案における対処の流れ等を確認するとともに、訓練に先立ち国民保護研修会を実施したことにより、訓練参加者及び実施地域の住民等に対して一定の啓発効果があり、国民保護に対する理解が深まった。

### ◇ 初動対処能力等の向上

各実動機関が、化学災害における検知・除染、搬送トリアージ等の事案対処要領を再認識するとともに、現地調整所における情報共有方策及び連携活動の手順等に対する理解が深まった。

## ○ 今後の課題と対応

### ◇ ブラインド要素を取り入れた訓練の推進

シナリオ提示型訓練においてもブラインド要素を順次拡大し、参加者のレベルアップを図る必要がある。

### ◇ 現地調整所に関する訓練の継続

現地調整所について、運営要領や事案の推移に応じて共有すべき情報の種別等に関する理解を定着させるため、訓練の継続的な実施（事前の勉強会等を含む。）が必要である。

### 3. 令和2年度 国民保護共同訓練の総括

#### (1) 訓練全体を通じた総括

◇ 国、都道府県、市町村及び関係機関が共同で訓練を実施し、国民保護措置が実施される事案における初動対応の要領や対応・連携体制、情報共有や調整の手順等を確認した。

◇ 新型コロナウイルス等の影響で多くの団体の訓練が中止となったが、リモートでの状況付与やWEB会議システムの活用等、それぞれの訓練において、必要な感染対策防止対策を万全に行うことで、当初想定した訓練項目は実行され、おおむね所期の訓練目的は果たされた。

## (2) 訓練の実施結果をふまえた推奨事例と課題事例

### ○推奨事例

図上訓練(検討会方式)の訓練において、市町村の危機管理能力(国民保護への理解)の一律向上を目的として、県内全市町村を対象とした集合形式のグループ討議を行った。

※令和2年度は岩手県及び宮城県、令和元年度 三重県で実施

#### (効果)

県として統一した考え方が構築できるのみならず、顔の見える関係の構築や、国民保護事案の特性(規模感)をふまえた隣接市の連携に資する考え方や施策の共有が図られ、防災との相互補完も期待できる。

### ○課題事例

訓練時間に制約があるなか、発災から事態認定までの一連の流れを圧縮して演練する訓練では、事案の進展スピードに対応することに追われてしまい、本来重視すべき、対応方針等の検討や判断等が形式的になってしまう場面が見られた。

#### (留意事項)

訓練効果を上げるためには、対応方針等の検討や状況判断を行う場面を増やすことを目的に、場面を区切った訓練も検討する必要がある。

## 4. 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について

### ○ 目的

昨今のわが国をとり巻く厳しい安全保障環境を踏まえ、弾道ミサイルが発射され万が一我が国に落下する可能性がある場合における情報伝達方式やその内容及び避難行動などを周知するため、平成29年3月17日に秋田県男鹿市で実施したのを最初に、国と地方公共団体の共同で「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」を実施。

### ○ 実施事項

住民等が、防災行政無線や携帯電話等による情報伝達を受け、屋内、地下等への避難を実施、屋内や地下等への避難が間に合わない場合は、その場で身を守る措置等を実施。

### ○ 実施状況

令和2年度末までに、国、都道府県及び市区町村の共同で25都道府県29市区町29件の訓練を実施。地方単独の訓練をあわせ、45都道府県182市区町村479件の訓練を実施。

大都市での訓練（東京都、仙台市、広島市、北九州市、福岡市等）、地下への避難訓練（富山県、東京都、福岡市）、携帯電話への緊急速報メールの送信を取り入れた訓練（青森県、福岡市）等を実施。

※ 平成30年6月以降は当面見合わせ。（地方単独の訓練は除く）

# 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について

(令和3年3月31日現在)

○地方公共団体単独の訓練を含め45都道府県182市区町村で479件の訓練を実施

## 1. 国と地方公共団体の共同訓練：25都道県29市区町29件を実施済み

	日時	場所	備考
1	H29.3.17	秋田県男鹿市	
2	H29.6.4	山口県阿武町	
3	H29.6.9	山形県酒田市	
4	H29.6.12	新潟県燕市	
5	H29.6.12	福岡県吉富町	
6	H29.7.10	愛媛県西条市	
7	H29.7.14	富山県高岡市	
8	H29.7.29	茨城県龍ヶ崎市	
9	H29.8.19	鳥取県琴浦町	
10	H29.8.24	熊本県上天草市	
11	H29.8.26	三重県津市	
12	H29.8.30	石川県輪島市	
13	H29.9.1	北海道滝川市	
14		・岩見沢市	

	日時	場所	備考
15	H29.9.17	兵庫県西宮市	
16	H29.9.27	秋田県由利本荘市	
17	H29.10.6	宮城県東松島市	
18	H29.10.10	青森県深浦町	
19	H29.10.17	山梨県山梨市	
20	H29.10.24	静岡県島田市	
21	H29.10.25	長野県軽井沢町	
22	H29.11.14	福井県福井市	
23	H29.11.22	長崎県雲仙市	※ 1
24	H29.12.1	福岡県福岡市	
25	H29.12.9	香川県高松市	
26	H30.1.10	鹿児島県徳之島町	
27	H30.1.22	東京都文京区	
28	H30.6.10	福岡県春日市	
29	H30.6.10	群馬県渋川市	

※1 国民保護訓練として、ミサイル落下後における県・市、警察、消防、自衛隊等の訓練も実施

※2 平成30年6月以降、国と地方が共同実施する弾道ミサイルを想定した住民避難訓練は当面見合わせ

## 2. 地方公共団体単独の訓練：38都道府県154市区町村450件を実施済（把握分）

## 5. 令和3年度 国民保護共同訓練の実施について

### (1) 訓練の実施概要

- ◇ 共同訓練（国と地方公共団体が共同して行う訓練）を31回実施予定  
（実動・図上訓練4回、実動訓練1回、図上訓練26回）

### (2) 訓練の実施予定

(ア) 実動・図上訓練（6府県・4訓練）

富山県、大阪府、徳島県、高知県（山口県・愛媛県）（※1）

(イ) 実動訓練（1県）

福島県

(ウ) 図上訓練（26都府県）

岩手県（※2）、宮城県、秋田県、山形県、栃木県（※2）、群馬県、東京都、  
神奈川県、新潟県、富山県（※2）、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、  
京都府、奈良県（※2）、鳥取県、島根県、香川県、高知県（※2）、福岡県、佐賀県、  
長崎県（※2）、大分県、宮崎県

（※1）山口県及び愛媛県は、高知県と連携して訓練を実施する予定。

（※2）地域ブロック検討会を実施する予定。

